

**渡部 佳菜子** [外務省推薦] (福島県耶麻郡西会津町)<https://www.facebook.com/kanako.watanabe.35912>

渡部佳菜子氏は、平成23年3月に実家にて就農し、その直後に東日本大震災に見舞われましたが、野菜作りを通してまちを盛り上げようと精力的にイベント参加や消費者とのコミュニケーションをとりながら、野菜の販売を行っています。

震災や放射能の影響を払拭するために販売イベントなどに数多く参加し、その影響もあり、西会津町ミスおとめゆり(町PRガール)、福島復興大使(福島民報新聞)、チームふくしまプライド、Cool Agri、台湾での風評払拭PR、あいづ農女子、会津shokudo(あいづ生産者×会津料理人)など、様々な活動に従事しました。農業のイメージや未来を「明るく楽しい」ものに変えていきたいと、日々奮闘しています。また、地元の小中学校をはじめ、都会から人を誘致する「グリーンツーリズム」を積極的に行い、訪れた人に農業を体験してもらっています。

大震災があったからこそ「自分は福島の農業家なんだ」という意識を強く持ち、先人達が耕した土地、高めてくれた生産技術などの土台を大切にしながら、復興への道のりを歩もうとしています。まだまだ風評被害があることを感じながらも、福島の農業の未来に希望をもち、より美味しく、より喜ばれることを追求して活動しています。



渡部 佳菜子さん



対面販売している様子



福島の野菜を積極的にPRする様子

## ■選考委員のコメント

農業を若者の多様な視点でとらえ、地域と地域を越えたエコシステムを構築しようとしています。自分の仕事を越え、次代の農業を担う立場から、自らのビジョンと実践、周囲を巻き込むリーダーシップを持つ人材として、今後、地域と世界をつなげていく期待がもてます。

## [受賞者からのひと言]

「農業はこれからおもしろくなる」そんな気持ちを胸に今まで取り組んできました。就農した2日後に東日本大震災に見舞われ、福島県は原発の影響もあり、最悪のスタートでした。

しかし、私はその事実を力に変え、ただ作物を栽培して売るだけでなく、消費者との交流を通して販売を行ってき

ました。また、グリーンツーリズムを積極的に行い、消費者に現場を見てもらうことを意識しています。

その取り組みに対してこんな素晴らしい賞をいただき光栄に思います。賞に恥じぬよう日々精進していきます。



表彰状の授与